

みつはし

三橋さぶろう

議会活動報告



救急現場で協力した方に



急病人や怪我を負った人を救急隊や医療機関に引き継ぐまで、手当てすることは重要です。しかし、一般市民にとって応急救護を行うことは非日常的な出来事であり、大量出血の止血や心臓マッサージ、AEDの使用などの行為は傷病者の生命を左右する極限状態です。このような状況に遭遇した人の中には、後になって「自分の行動が正しかった？」などの強い不安やストレスを抱えてしまうこともあるそうです。

こういったことから救急現場で傷病人の救助、心配蘇生などの応急手当した人（バイスタンダー）へ、感謝を伝えるとともに事後の不安やストレスを軽減するため、消防隊員がお礼文と連絡先が書かれた『カード』を渡す取り組みが全国で広がっています。

(うら面へ)

応急手当を行ってくださった方
救急隊が到着するまでの間
勇気を持って応急手当を行っていただき
ありがとうございました

応急手当を行ったことで、心や体に不安なことなど
がありましたら、裏面の相談窓口にご相談ください。

 **我孫子市消防本部**
〇〇救急隊 

我孫子市消防本部のサンキューカード（表）

No. 0000 **健康相談窓口**

我孫子市消防本部 警防課 Tel.04-7181-7701
平日の午前8時30分から午後5時00分まで

ご相談の際は、救急現場で応急手当
を行ったことをお伝えください。
関係機関と連携しながらご相談に応じます。

ひとりで悩まずお気軽にご相談ください。

サンキューカードの裏面

三橋さぶろう プロフィール

- 1978年 長野県木島平生まれ(39歳)
- 2002年 中央大学商学部卒業
株式会社カネボウ
江東区健康スポーツ公社
- 2008年 衆議院議員 野田佳彦秘書
- 2011年 衆議院議員 若井康彦公設秘書
- 2015年 船橋市議会議員選挙 当選
・健康福祉委員会 ・民進党派派
- 特 技: クロスカントリースキー
1998年長野オリンピックボランティアスタッフ
2002年ソルトレイクシティ・パラリンピック日本代表コーチ
- 家族:妻、息子(5歳)

(表面から)

勇気ある行動で人命救助・応急救護された方に、船橋市消防局でも感謝の気持ちを伝え、不安やストレスで悩むことがあればサポートする取り組みを行ってほしいと思います。平成30年第一回定例会本会議で、この取り組みについて質問しました。以下、要約を記載します。

【質問者：三橋さぶろう】

救急救命をされた方が不安になったり、ストレスを感じる方は少なくないようで、そういった方が消防に相談できるように取組を行っているところがあります。各消防によって異なる部分もありますが、応急手当を行った方に対し、救急現場で救急隊員がお礼と感謝の言葉が書かれた小さなカードを渡しています。感謝カード、バイスタンダーサポートカード、サンキューカードなど色々と名付けられておりますが、そのカードには、もし不安やストレスを抱えてしまった場合は相談ができるように連絡先が書かれています。すでに千葉県内では千葉市、柏市、我孫子市で応急救護してくれた方をフォローアップする取り組みがされています。船橋市も同様の取組をした方がよいと思いますがご所見を伺います。

【答弁者：消防局長】

救急現場において、その場に居合わせた方をバイスタンダーと呼んでおり、救急隊が現場到着するまでの貴重な時間に、バイスタンダーが必要な応急処置をおこなっていただくことは重要であります。ご質問のバイスタンダーのフォローアップのためのカードの配布につきましては、取り組みをおこなっております他市の状況を確認しながら、本市におきましてもメンタル的な側面からのフォローアップとして、このようなカードの配布について、今後検討をして参りたいと考えております。

三橋さぶろう市議会報告会

日 時：平成30年4月14日（土）10：00～12：00

場 所：三橋さぶろう事務所（駐車場はありません）

1時間ほど議会活動報告。その後、質問や要望をお聞きし意見交換させていただきます。

ご意見やご要望をお寄せください。

〒274-0063 船橋市習志野台4-10-12（新京成線習志野駅より徒歩4分）

電話：047-402-2810 FAX：050-3488-3190

E-mail：funabashi@mituhashisaburo.jp

HP：<http://mituhashisaburo.jp>

三橋さぶろう まで

事務所にお越しの場合は、あらかじめご連絡いただくと助かります。